

もしも展覧会——If I were... の1枚

Class _____ No. _____ Name _____

 **今日のゴール** 仮定法(If I were ~, I would ... / I wish I could ~)で「もしもの自分」をカードにして、展覧会トークをしよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

If I **were** a bird, I **would** fly to school.
 If I **had** a time machine, I **would** meet my grandfather.
 I **wish** I **could** talk with my dog.
 ▼ トークでの質問
 Why? — Because he always listens to me!

仮定法は「現実にはないこと」を過去形で言う。If I were (beはwere) / would・could が目印。願いは I wish ~。

STEP 2 使える表現(この中から選んで使おう)

If I were ~, I would

If I had ~, I would

I wish I could ~.

Why? — Because ~.

That's interesting!

STEP 3 「もしもの自分」を2パターンメモしよう(なりたいもの・ほしいもの・できたらいいこと)。

もしも①	
もしも②	

STEP 4 「もしもカード」を書こう(If の文2つ + I wish の文1つ)。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

もしも展覧会——If I were... の1枚
【つたえる・ふりかえる】

Class _____ No. _____ Name _____

STEP 5 グループで「もしも展覧会」——読み合って、Whyで深掘りしよう。

できたらチェック：

- ☐ ① グループでカードを回し読み(声に出して)
- ☐ ② 気になった「もしも」に Why? で質問→ Because ～ で答える
- ☐ ③ クラスで「発想がすごいで賞」「共感で賞」を投票

自己評価 できたところに ○ をつけよう(正直に！)

ふりかえりの観点	◎ よくできた	○ できた	△ もう少し
① 内容 言いたいことが相手に伝わった			
② 正確さ 習った表現を正しく使えた			
③ 流暢さ あまり止まらずに言えた			
④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた			

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 友だちの「もしも」への返しに挑戦。If I were you, I would visit the future, not the past! —— If I were you(もし私があなたなら)が言えたら仮定法マスター。

先生へ(この教材のねらいと進め方)

ねらい: 仮定法を「想像・願望を伝える文法」として、もしもカードという遊び心のある場面で運用させる。書き換え練習ではなく、自分の願いを言うために過去形を選ぶ経験を作る。

進め方: 教師の「もしも」を最初に1枚見せる(自己開示ネタ: If I had more time, I would sleep until noon. など)で笑いを取ると書きやすくなる)→ カード → 展覧会トーク。

見取り: If節の過去形(were / had)／帰結節の would・could／wish のあとの過去形。評価は裏面の4観点で。卒業前の時期なら「3年間へのもしも」をお題にすると学年末の1枚になる。